

【三月の言葉（平成三十年）】

当てはずれ 当てはずれ

当てはずれ 続けて

当てはずれても良い 大地に立つ

私たちの人生は思い通りにはいきません。当てはずれ続けています。

思い通りにしようとするから苦しむのですが、思い通りにしたいという思いはすぐに起こってきます。人間は自我が碎かれて成長していくのに自我に固執し、思い通りにしようとして苦しんでいます。本当に当てはずれの繰り返しです。

阿弥陀如来は、その当てはずれ続けている私たちを見捨てることなく支え続けてくださっているのです。悲しい時も、苦しい時も、さびしい時も、失敗した時も、分け隔てせず、選ぶことをせず、比べることをせず、どんな時もそのまま支えてくださっています。いつも私に居場所を与えてくださっているのです。安心です。大きな喜びです。

当てはずれてもいい大地に立って生きましよう。